

サンカルナでかなえる、

「人生100年時代」のアクティブ・シニアライフ

西 日本鉄道は6月、福岡市の副都心・西新に住宅型有料老人ホーム「サンカルナ西新」を開業しました。このたび、フリーアナウンサーの川上政行さんが同施設を訪ね、運営する西鉄ケアサービス専務取締役運営管理部長の福山宣幸さんと対談。施設の特長や福岡県内全域に展開する「サンカルナ」シリーズのコンセプト、「人生100年時代」のシニアの生き方やコミュニケーションの大切さなどについて話が弾みました。

のある所に住みたいという高齢者が多くおられます。

駅近く商店街に活気 施設は落ち着いた空間

福山 「サンカルナ西新」の良さは交通の利便性が非常に高いことです。地下鉄西新駅から歩いてすぐ。バスもたくさん走っています。そして、福岡で有数の文教地区であり、商店街にもぎやかです。最近はこの活気

の建物には14階建てで133の居室があります。1、2階にはスーパーマーケットなどがテナントとして入居。3階は入居者専用の大浴場やフィットネスルームがあります。レストランやスカイラウンジがある最上階の14階からは博多湾から油山まで見渡せます。最高の眺望や夜景を楽しみながら、食事やお酒も楽しんでいただけます。

よ。西鉄の高齢者施設としては、有料老人ホーム「サンカルナ」、サービス付き高齢者向け住宅「カルナス」を合わせて11施設目となります。

川上 西新はかつて8年近く住んだ親しみのある街です。私ももうすぐ前期高齢者ですが、シニアに住みやすい地域だと思います。このレストランは「一日中いたいな」という気になりますし、日当たりも良くてスペースはゆったり。外はにぎやかですが、中はとても静か。落ち着いた生活ができますね。

福山 弊社の基本理念は「豊かなシニアライフのサポート」です。「安心」「快適」「ときめき」を提供していきたい。「お客様の笑顔が私たちの喜び」という行動理念を掲げ、お客様本位のサービス提供に努めています。老人ホームが増え始めた頃は70歳代後半からの入居が多かったのですが、健康寿命の延びや介護保険制度の効果で、今は80歳代の入居やご相談が増えています。入居一時金は高齢になるほど安くなる仕組みです。

川上 私は今、ラジオの仕事が多く、リスナーさんにはシニアの方が目立ちますが、たくさんメッセージをいただきますが、仕事を頑張っている方、趣味やボランティアに一生懸命なアクティブな方が多いと感じます。我々が以前持っていた「退職して年金で悠々自適の生活」のイメージではなく、「行けるとここまで頑張るぞ」という感じです。入居されるきっかけはどのようなケースがありますか？

福山 ご夫婦のどちらかがご病気になられたり、お亡くなりになったのをきっかけに検討されるケースは多いです。女性お一人の場合は独居の不安や自宅の維持管理の負担を考えると、入居される方も少なくありません。また、男女問わず「フレイル」と呼ばれる、加齢や活動量の低下で心身が衰えた状態の方は、急病やけが、防犯面でも不安を感じておられますね。

川上 私には今、ラジオの仕事が多く、リスナーさんにはシニアの方が目立ちますが、仕事を頑張っている方、趣味やボランティアに一生懸命なアクティブな方が多いと感じます。我々が以前持っていた「退職して年金で悠々自適の生活」のイメージではなく、「行けるとここまで頑張るぞ」という感じです。入居されるきっかけはどのようなケースがありますか？

福山 シニアも多様性の時代です。価値観も様々ですので、それに合わせて入居者の方一人ひとりをしっかりサポートします。今まで一生懸命働いてこられて、「最後の褒美」をお手伝いさせていただくというのが我々のめざすところです。

川上 「シルバーエイジ」という言葉がありますが、ある芸能人が「プラチナは錆びないから、プラチナエイジと呼んでもらいたい」と言っていました。「錆びない人生」であり、「錆びない年代」でいてほしい。それを表現するのに「サンカルナ」はぴったりという気がします。話して、動いて、食べて、楽しむ。「人生100年時代」の豊かなシニアライフがここにありますね。

フリーアナウンサー 川上政行さん



かわかみ・まさゆき
1980年MRT宮崎放送にアナウンサーとして入社。91年TXN九州(現・TVQ九州放送)開局に際し移籍。2003年フリーに。16年までRKB毎日放送「今日感テレビ」のメインキャスター。現在も福岡を拠点にメディアなどで活躍中。

対話・交流のある生活 要介護になっても安心

川上 私は今、ラジオの仕事が多く、リスナーさんにはシニアの方が目立ちますが、仕事を頑張っている方、趣味やボランティアに一生懸命なアクティブな方が多いと感じます。我々が以前持っていた「退職して年金で悠々自適の生活」のイメージではなく、「行けるとここまで頑張るぞ」という感じです。入居されるきっかけはどのようなケースがありますか？

川上 話すことは肉体的にも精神的にもいいと思います。「それだけしゃべれば、ストレスはないだろう」と言われる私にもストレスはありますが、3、4時間位しゃべるとさすがにすっきりします(笑)。

「最後の褒美」をしっかりと手伝い

福山 シニアも多様性の時代です。価値観も様々ですので、それに合わせて入居者の方一人ひとりをしっかりサポートします。今まで一生懸命働いてこられて、「最後の褒美」をお手伝いさせていただくというのが我々のめざすところです。

西鉄ケアサービス株式会社 専務取締役運営管理部長 福山宣幸さん



ふくやま・のぶゆき
1980年麻生セメント入社。飯塚病院などを経て、2000~07年ベターナーシング、07~20年麻生メディカルサービスの代表取締役社長を歴任。12~16年には公益社団法人全国有料老人ホーム協会理事長を務めた。20年6月から現職。